

1 生産・流通・販売の三位一体の高度化

【取り組みの方向】

<生産>

- 果樹産地の国内外における競争力を強化するため、本県オリジナル品種や優良品種の早期普及・産地化を図るとともに、生産拡大や出荷体制の整備を支援します。
- 野菜産地の競争力強化のため、重点的に振興する品目を「やまなし野菜」とし、生産性の向上や高品質、省力・低コスト化などを支援します。
- 水田農業の振興を図るため、高品質米の生産を推進するとともに、麦や大豆への転換や加工用米・飼料用米等の作付けを促進し、水田のフル活用を推進します。
- 花き産地の振興を図るため、県オリジナル品種等の生産拡大に取り組むとともに、高品質化や用途拡大に向けた技術の確立・普及に取り組みます。
- 畜産の振興を図るため、甲州統一ブランド食肉等の生産基盤を強化するとともに、低コスト化と生産性の向上に取り組み、持続可能な畜産経営の確立を推進します。
- 県ブランド魚「富士の介」の生産体制の強化を進めるとともに、クニマスの保全と地域資源としての活用に向けて取り組みます。
- 茶産地の振興を図るため、生産力強化に向けた茶園地の集積や老朽化茶園の更新を支援するとともに、プレミアムティーや有機栽培など茶製品の高付加価値化に取り組みます。
- 高い品質を維持しつつ、生産性向上を図るため、匠の技術を見える化する「データ農業」技術を開発・普及するとともに、スマート農業機器などの先進技術の導入を推進します。
- 農畜産物等の高付加価値化を推進するため、4パーミル・イニシアチブやアニマルウェルフェアなどの取り組みやジビエの利活用を推進します。
- 環境にやさしい農業を推進するため、有機農業や環境保全型農業の取り組みを支援します。
- 物価高騰や異常気象、家畜伝染病への対策を強化し安定生産を支援するとともに、農薬の適正使用の徹底やGAP等の導入推進により安全・安心な農産物の生産を支援します。

<流通>

- 品質管理の徹底と効率的な流通体制を構築するため、出荷規格の統一と共同利用施設や輸送体制の構築などを支援します。

<販売>

- 農畜水産物の販路拡大を図るため、需要拡大に向けたプロモーションを行うとともに、直売所や学校給食での地元食材の活用に取り組みます。

- 農業の6次産業化を推進するため、加工品開発や販路開拓等を支援します。
- 県産農畜水産物の輸出拡大に向けて、新たな輸出先国の開拓や米・牛肉・魚などの輸出品目の拡大に取り組むとともに、輸出促進に向けた体制づくりを支援します。

【主な施策】

(1) 高品質・安定生産による競争力の強化

ア 果樹

果樹産地の競争力強化のため、消費者ニーズに合った本県オリジナル品種を開発するとともに、早期の産地化に向けた苗木供給体制の構築や高品質・安定生産につながる栽培技術の開発・普及に取り組みます。

また、米国産すももの輸入解禁や米国産ももの輸入解禁協議の開始を踏まえ、産地の競争力を更に強化するため、優良品種への改植や高品質化、鮮度保持・品質管理を徹底した流通体制の構築を支援するとともに、差別化を図るための国内外におけるプロモーションの強化と輸出先国の拡大を進めます。

さらに、県産ワインのブランド力強化のため、醸造用「甲州」の更なる生産量増加に向けた取り組みを推進するとともに、赤ワイン用原料として期待されている「ソワノワール」の早期産地化に向けて苗木供給体制を構築します。

《数値目標等》

成果指標	現況値 (R4)	目標値 (R8)
もも「夢みずき」の生産量	526t	1,500t
ぶどう「甲斐キング」の生産量	32t	120t
ぶどう「サンシャインレッド」の生産量	0t	100t
優良品種への改植面積（累計）	184ha (R1~4)	200ha (R5~8)
醸造用「甲州」供給量	3,836t (R3)	4,200t (R7)
赤ワイン用「ソワノワール」の苗木供給本数（累計）	0本	10,000本

① 優良品種の開発・普及と高品質・安定生産技術の普及

- 消費者ニーズに合った高品質で食べやすい品種や省力・低コストで生産できる栽培性に優れた品種、病害に強い品種を開発するとともに、試験研究機関での研究の加速化を図ります。
- 開発した品種等については、国内外で品種登録や商標登録等を行い、知的財産として適切に管理します。
- 県育成の新品種や有望な民間育成品種を本県オリジナル品種に位置付け、苗木の供給体制の構築や供給支援を行うとともに、栽培技術を普及し早期産地化を図ります。
- 巨峰などの既存品種の高品質化に向けたウイルスフリー苗の供給を支援します。
- 高品質化・省力化及び生産性の向上につながる技術の開発・普及に取り組みます。
- 「県果樹農業振興計画」を改定するとともに、各産地が策定する「果樹産地構造改革計画」の改定等を支援します。

		果樹・6次産業振興課 農業技術課			
具体的な施策・事業		工程表（年度別事業計画）			
		R5	R6	R7	R8
○県オリジナル品種の開発		[Progress bar from R5 to R8]			
	開発				
○知的財産の取得・管理		[Progress bar from R5 to R8]			
	実施				
○県オリジナル品種等の苗木生産体制強化		[Progress bar from R5 to R6]	[Progress bar from R6 to R8]		
	ほ場整備		苗木供給		
○有望な民間育成品種の発掘・普及		[Progress bar from R5 to R8]			
	実施				
○「サンシャインレッド」の早期産地化、栽培技術の普及		[Progress bar from R5 to R8]			
	苗木供給・普及				
○「夢みずき」、「甲斐キング」など県オリジナル品種の早期産地化		[Progress bar from R5 to R8]			
	支援				
○ぶどうウイルスフリー苗の供給支援		[Progress bar from R5 to R8]			
	支援				
○果樹の高品質化・省力化、生産性向上技術の開発・普及		[Progress bar from R5 to R8]			
	開発・普及				
○県果樹農業振興計画の改定・推進		[Progress bar from R5 to R6]		[Progress bar from R7 to R8]	[Progress bar from R8 to R8]
	推進			改定	推進
○産地の果樹産地構造改革計画の改定・推進を支援		[Progress bar from R5 to R6]		[Progress bar from R7 to R8]	[Progress bar from R8 to R8]
	推進支援			改定支援	推進支援

② すもも・ももの輸入解禁を踏まえた産地競争力強化への支援

<p>○各産地の果樹産地構造計画に位置付けられた大玉で着色、食味、栽培性などに優れた優良品種への改植を推進します。</p> <p>○国内外の市場ニーズに合った、上位規格品及び海外輸出向け選果レーンによる共選体制の整備、消費者まで鮮度を保った状態で果実を輸送できる、鮮度保持・品質管理を徹底した流通体制の構築を支援します。</p> <p>○米国産すももの輸入解禁や米国産ももの輸入解禁協議の開始を踏まえ、差別化を図るための国内外におけるプロモーション強化と輸出先国の拡大を進めます。</p>					
		果樹・6次産業振興課 販売・輸出支援課			
具体的な施策・事業		工程表（年度別事業計画）			
		R5	R6	R7	R8
○優良品種への改植の推進及び生産安定					
		推進			
○果樹共同利用施設整備等への支援					
		支援			
○品質管理を徹底した流通体制の構築支援					
		支援			
○国内・海外でのリアルとデジタルを組み合わせたプロモーションの実施					
		実施			
○中国等における検疫条件の早期設定に向けた国等への要望活動の実施					
		要望			

③ ワイナリーの需要に応じた醸造用ぶどうの生産拡大に向けた支援

<p>○醸造用「甲州」の生産量の増加に向け、省力・低コスト化技術の開発や優良系統の早期産地化に取り組みます。</p> <p>○赤ワイン用原料の優良品種として期待されている「ソワノワール」の苗木供給体制を構築し、早期産地化を図ります。</p> <p>○県ワイン酒造組合やJAなどと連携し、ワイン原料となる「甲州」や欧州系品種の品質向上に向けた栽培技術の確立・普及を図るとともに、欧州系品種のウイルスフリー化と、本県に適した欧州系品種の選抜を進めます。</p>					
		果樹・6次産業振興課			
具体的な施策・事業		工程表（年度別事業計画）			
		R5	R6	R7	R8
○「甲州」の省力・低コスト化技術の開発					
		開発		普及	

○「甲州」優良系統の早期産地化					
	苗木供給				
○「ソワノワール」の早期産地化に向けた苗木供給体制の構築					
	体制構築	苗木供給			
○本県に適した欧州系品種の選抜					
	選抜 フリー化	母樹育成			
○品質向上に向けた栽培技術の確立・普及					
	確立・普及				

イ 野菜

「やまなし野菜」として定めた主要野菜のスイートコーン、なす、トマト、きゅうり及び地域の特産野菜の重点的な振興を図るため、品目ごとに具体的な振興方策を検討します。

また、経営規模の拡大や共同出荷の効率化などに向けた施設整備等を支援するとともに、高品質化、省力・低コスト化技術等の開発・普及を推進します。

さらに、地域の特性を生かして伝統的に生産されている特産野菜の生産拡大のため、安定生産・省力化に向けた栽培技術の実証・普及、地産地消に向けた情報発信等を行います。

《数値目標等》

成果指標	現況値	目標値
主要野菜の生産額	6,422 百万円 (R1~4 平均)	6,422 百万円 (R5~8 平均)



① 主要野菜の産地強化に向けた支援

- 「やまなし野菜」として定めた主要野菜のスイートコーン、なす、トマト、きゅうりについて品目ごとに課題を把握し、解決に向けた振興方策を検討します。
- 各産地が策定する「産地強化計画」の改定等を支援します。
- 野菜指定産地の実態を把握し、出荷量の維持を支援するとともに、野菜価格安定対策により野菜農家の経営安定を図ります。
- 高品質化、省力・低コスト化につながる技術等の開発・普及に取り組みます。
- 経営規模の拡大や共同出荷の効率化などに向けた施設整備等を支援します。

	果樹・6次産業振興課 農業技術課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○「やまなし野菜」の振興方策の検討・推進	検討	推進		

○産地強化計画の改定支援	[Progress bar]			
支援				
○野菜価格安定対策の実施	[Progress bar]			
実施				
○主要野菜の高品質化、省力・低コスト化技術等の開発・普及	[Progress bar]			
開発・普及				
○野菜の生産施設や共同利用施設の整備支援	[Progress bar]			
支援				

② 地域の特性を生かした特産野菜の生産拡大に向けた支援

○「やまなし野菜」として定めた地域で伝統的に生産されている特産野菜の「あけぼの大豆」や「大塚にんじん」などの安定生産・省力化に向けた栽培技術を実証・普及するとともに、地産地消に向けた情報発信を行います。				
○これまでに栽培実証した品目・作型の生産拡大を支援し、新たな特産化を目指します。				
	果樹・6次産業振興課 農業技術課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○特産野菜の安定生産・省力化技術の実証・普及	[Progress bar]			
実証・普及				
○特産野菜の地産地消の推進	[Progress bar]			
情報発信				
○これまでに栽培実証した品目・作型の生産拡大支援	[Progress bar]			
支援				

ウ 水稻等

水田農業の振興を図るため、新品種の早期産地化や高品質米の生産拡大を支援するとともに、省力・低コスト化に向けた栽培技術の実証・普及等に取り組みます。

また、市町村再生協議会が行う「水田収益力強化ビジョン」の策定を支援し、麦や大豆への転換や加工用米、飼料用米等の作付けを促進するとともに、生産者と実需者のマッチングを支援することにより、水田のフル活用を推進します。

《数値目標等》

成果指標	現況値 (R4)	目標値 (R8)
「にじのきらめき」栽培面積	2ha	95ha
麦、大豆、加工用米、飼料用米等の作付面積	368ha	396ha

① 所得の安定に向けた技術の実証・普及等

- 水稻等作物の奨励品種に指定した品種種子の安定供給を推進します。
- 各地域に適した多収・高品質で耐病性が高い優良品種を選定するとともに、省力・低コスト化に向けた栽培技術の実証・普及に取り組みます。
- 新品種「にじのきらめき」の早期産地化や高品質米の生産拡大に取り組みます。
- 本県の日本酒の原料となる酒米の生産者に対し機械等の整備を支援するとともに、本県に合った新たな酒米品種を選定・普及し、酒米の生産拡大等を促進します。

具体的な施策・事業	食糧花き水産課 農業技術課			
	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
○奨励品種の種子の安定供給	供給			
○優良品種の選定	選定			
○省力・低コスト化技術の実証・普及	実証・普及			
○「にじのきらめき」の早期産地化に向けた支援	支援			
○高品質米の生産拡大支援	支援			

○酒米の生産拡大等に必要な機械・施設整備への支援	支援			
○酒米品種の選定・普及	選定			普及

② 水田のフル活用の推進

<p>○麦、大豆、そばへの転換や加工用米、飼料用米等の作付けを促進するため、市町村再生協議会が行う「水田収益力強化ビジョン」の策定や、生産者と実需者のマッチングなどを支援するとともに、生産拡大に向けた機械等の整備を支援します。</p> <p>○市町村再生協議会が行う経営所得安定対策等への加入促進や農業団体が行う水田情報を収集・活用する取り組みを支援します。</p> <p>○水田を活用した飼料作物・飼料用米の生産を拡大するため、耕種農家と畜産農家との耕畜連携を推進します。</p>				
	食糧花き水産課 畜産課			
	工程表（年度別事業計画）			
具体的な施策・事業	R5	R6	R7	R8
○水田収益力強化ビジョンの策定支援	策定・支援			
○生産者と実需者のマッチング支援	支援			
○転作作物の生産拡大に向けた機械等の整備への支援	支援			
○経営所得安定対策等を推進する市町村再生協議会への支援	支援			
○水田情報を収集・活用する農業団体等への支援	支援			
○飼料作物等の生産拡大に向けた耕種農家と畜産農家の耕畜連携の推進	推進			

エ 花き

花き産地の振興を図るため、県オリジナル品種等の種苗供給や栽培技術の普及、実需者への利用促進に向けた取り組みを支援するとともに、有望品目等の安定生産技術の確立・普及に取り組めます。

また、県産花きの新たな需要拡大を図るため、需要にあった品目等の選定・導入や観光施設等での飾花などの用途に合った栽培技術等の普及に取り組めます。

《数値目標等》

成 果 指 標	現 況 値 (R4)	➔	目 標 値 (R8)
ピラミッドアジサイ生産農家戸数	7 戸		12 戸

① オリジナル花き等の生産拡大に向けた支援

- 「やまなし花き振興計画」を改定し、花きの生産振興を図ります。
- ピラミッドアジサイなどの県オリジナル品種等の種苗供給や栽培技術の確立・普及、新品種のPR展示等を実施します。
- 生産者団体が行う、県産花きの実需者への利用促進に向けた取り組みを支援します。
- 有望品目等の栽培技術、安定生産技術の確立・普及に取り組めます。

	食糧花き水産課 農業技術課			
	工程表（年度別事業計画）			
具体的な施策・事業	R5	R6	R7	R8
○やまなし花き振興計画の改定・推進	➔ 改定	➔ 推進		
○県オリジナル品種等の種苗の生産・供給	➔ 生産・供給			
○県オリジナル品種の栽培技術の確立・普及	➔ 確立	➔ 普及		
○生産者団体が実施する利用促進に向けた取り組みへの支援	➔ 支援			
○有望品目等の安定生産技術の確立・普及	➔ 確立・普及			

② 高品質化や用途拡大に向けた技術の開発・普及

○コショウラン栽培の生産条件の改善など高品質化、省力・低コスト化技術等の普及に取り組みます。				
○県産花きの新たな需要拡大に向け、需要に合った品目等の選定・導入や観光施設等での飾花などの用途に合った栽培技術等の普及に取り組みます。				
		食糧花き水産課 農業技術課		
具体的な施策・事業		工程表（年度別事業計画）		
		R5	R6	R7
○花きの高品質化、省力・低コスト化技術等の開発・普及		▶		
		開発・普及		
○需要に合った品目等の選定・導入		▶		
		選定・導入		
○用途に合った栽培技術等の普及		▶		
		普及		

オ 畜産

甲州牛や甲州富士桜ポーク等の甲州統一ブランド食肉の生産基盤を強化するため、優れた種畜等を安定的に供給するとともに、飼養技術向上への支援や利子補給、経営指導などによる生産農家の経営支援を行います。

また、輸入飼料に依存しない経営を確立するため、低コスト化と飼料自給率向上に向けた飼料作物の優良品種の選定・普及、食品残さ等を活用して製造された飼料であるエコフィードの利用促進、飼養管理技術の開発・普及を進めます。

さらに、飼料コストを低減するとともに、消費者の嗜好に合った食肉を生産するため、放牧など牧草主体で肥育した牛の赤身肉「グラスフェッドビーフ」の生産技術について実証・普及を行います。

加えて、毎日の飼養管理で定期的な休みを取ることが難しい畜産農家の労働環境を改善するために畜産ヘルパーを育成するとともに、畜産ヘルパー組織の強化を図ります。

《数値目標等》

成果指標	現況値 (R4)	➔	目標値 (R8)
甲州牛生産頭数（累計）	1,927頭 (R1~4)		2,100頭 (R5~8)
グラスフェッドビーフ生産農家数	0戸		8戸

① 畜産農家の経営安定に向けた支援

- 甲州牛や甲州富士桜ポーク等の甲州統一ブランド食肉の生産基盤を強化するため、優良な種畜等の供給、甲州牛増産のための採卵技術の開発・普及や飼育技術向上の支援、利子補給や経営指導などにおいて関係機関と一層の連携を図り、生産農家への支援を行います。
- 家畜の改良増殖などの法定計画を策定し、目標達成に向けた施策を推進します。

具体的な施策・事業	畜産課			
	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○優良種豚、種鶏、牛受精卵等の供給	→			
供給				
○甲州牛増産に向けた効率的な受精卵採卵技術の開発・普及	→			
開発・普及				
○飼育技術向上への支援	→			
支援				
○肉用牛・肉豚の価格差補填と融資の利子補給等による経営支援	→			
支援				
○畜産に関する法定計画の策定・推進	→	→	→	
推進	策定		推進	

② 低コスト化・高付加価値化に向けた技術の開発・普及

- 低コスト化と飼料自給率向上に向けた飼料作物の優良品種を選定し普及するとともに、食品残さ等を活用して製造された飼料であるエコフィードの利用を促進します。
- 牧草のオリジナル品種の栽培技術の普及を図るとともに、低コスト化や高付加価値化につながる飼養管理技術の開発・普及を進めます。
- 飼料コストを低減するとともに、高付加価値化につながる牧草主体で肥育した牛の赤身肉「グラスフェットビーフ」の生産技術について実証・普及を行います。

具体的な施策・事業	畜産課			
	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○飼料作物の優良品種の選定・普及	→			
選定・普及				
○エコフィード利用の促進	→			
促進				

○牧草のオリジナル品種の栽培技術の普及				
○低コスト・高付加価値化飼養管理技術の開発・普及				
○グラスフェッドビーフの生産技術の実証・普及				
	普及			
	開発・普及			
	実証	普及		

③ 畜産ヘルパー組織の強化による畜産農家への支援

○全ての畜種に対応可能な畜産ヘルパーを育成し、定期的な休みを取ることが難しい畜産農家の労働環境の改善を図ります。				
○畜産ヘルパーを募集・育成するためのヘルパー利用組合の取り組みを支援し、ヘルパー組織の強化を図ります。				
	畜産課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○畜産ヘルパーの育成				
	育成			
○畜産ヘルパー利用組合の取り組みへの支援				
	支援			

カ 水産

ブランド魚の生産拡大のため、県ブランド魚「富士の介」の生産体制の強化を進めるとともに、「富士の介」の養殖に新たに取り組む事業者の掘り起こしや技術習得等を支援します。

また、西湖に生息するクニマスの保全と地域資源としての活用を図るため、養殖技術の確立・普及に向けた取り組みを進めます。

さらに、内水面漁業の振興を図るため、養殖業者や漁業協同組合に対して養殖・放流に必要な種苗を供給するとともに、養殖効率の向上に向けた飼育技術等を開発・普及します。

加えて、漁業協同組合等と連携し遊漁の活性化を図るため、水産資源の保全や漁業環境の改善に向けた啓発活動などに取り組めます。

《数値目標等》

成果指標	現況値 (R4)		目標値 (R8)
「富士の介」の生産量	62t		80t

① ブランド魚の養殖技術の確立・普及

- 「富士の介」の成長性・耐病性の向上や低コスト養殖技術の開発・普及を図るとともに、生産に必要な機械・施設の整備を支援することにより、生産体制を強化します。
- 「富士の介」の養殖に新たに取り組む事業者の掘り起こしと生産拡大に向けた技術習得等を支援します。
- 新規参入希望者や規模拡大事業者に対して、関係機関との調整や事業計画の作成等を支援します。
- 西湖に生息するクニマスの保全を図るとともに、養殖技術の確立・普及に取り組みます。

		食糧花き水産課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）				
	R5	R6	R7	R8	
○「富士の介」の効率的な養殖技術の開発・普及					
開発・普及					
○「富士の介」の生産に必要な機械・施設整備への支援					
支援					
○「富士の介」の養殖に取り組む事業者の掘り起こしと技術習得等への支援					
掘り起こし		支援			
○新規参入希望者等への支援					
支援					
○事業開始に向けた事業計画の作成等への支援					
支援					
○クニマスの保全と養殖技術の確立・普及					
技術確立				普及	

② 内水面漁業者の経営安定に向けた支援

- 「やまなし水産振興計画」を改定し、内水面漁業の振興を図ります。
- 成長が早いニジマスの優良系統の種苗を生産し、養殖業者に供給することにより、飼料等の生産コストの低減を図ります。
- 漁業協同組合に対して放流に必要なアユ等の種苗を供給するとともに、効率的な増殖や放流方法を確立・普及します。
- 漁業協同組合や観光業者等と連携して、水産資源の保全や漁場環境の改善に向けた啓発活動などに取り組み、河川・湖沼における釣りなどの遊漁の活性化を図ります。

		食糧花き水産課			
具体的な施策・事業		工程表（年度別事業計画）			
		R5	R6	R7	R8
○やまなし水産振興計画の改定・推進					
	改定		推進		
	生産・供給				
	生産・供給				
	確立・普及				
○ニジマスの優良系統種苗の生産・供給					
	生産・供給				
○アユ等の種苗の生産・供給					
	生産・供給				
○効率的な増殖・放流方法の確立・普及					
	確立・普及				
○水産資源の保全、漁場環境の改善に向けた啓発活動の実施					
	実施				

キ 地域特産物

茶産地の維持・発展を図るため、生産力強化に向けた老朽化茶園の更新や茶園地の集積、担い手の育成の取り組みなどを支援します。

また、茶製品の高付加価値化に向けたプレミアムティーの商品開発や、県産茶のブランド価値の向上、有機栽培技術の実証・普及の取り組みなどを支援します。

さらに、新たな特産品目としてこれまで実証した品目や本県に合った薬用植物の生産拡大等を支援します。

《数値目標等》

成果指標	現況値 (R4)	目標値 (R8)
プレミアムティー開発数(累計)	2商品	4商品



① 茶の高品質・安定生産技術の普及

○生産力強化に向けた老朽化茶園の更新や茶園地の集積、生産者団体が行う担い手（オペレーター）の育成の取り組みなどを支援します。				
○茶製品の高付加価値化に向けたプレミアムティーの商品開発や、県産茶のブランド価値の向上、有機栽培技術の実証・普及の取り組みなどを支援します。				
	食糧花き水産課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○老朽化茶園の更新と茶園地の集積への支援	支援			
○担い手（オペレーター）の育成等への支援	支援			
○プレミアムティーの商品開発とブランド価値向上に向けた取り組みへの支援	支援			
○有機栽培技術の実証・普及	実証		普及	

② 新たな特産品目の生産拡大に向けた支援

○これまで実証した中山間地でも栽培が可能な品目や加工品として活用が可能な品目等の産地化に向けて生産拡大を支援します。					
○本県に適合した薬用植物の生産拡大を支援するとともに、生産者と医薬・健康食品関連会社などの実需者とのマッチングを支援します。					
		果樹・6次産業振興課 食糧花き水産課			
具体的な施策・事業		工程表（年度別事業計画）			
		R5	R6	R7	R8
○これまでに栽培実証した特産品目等の生産拡大支援		➡			
		支援			
○薬用植物の生産拡大支援、生産者と実需者とのマッチング支援		➡			
		支援			

(2) 先進的技術の導入による生産性の向上

農産物の高い品質を維持しつつ生産性の向上を図るため、匠の技術を見える化するデータ農業の技術を開発し、JA等と連携して適切にその技術を普及します。

また、省力化等による農業生産の効率化を図るため、スマート農業の導入支援や先進技術の実証・普及を行うとともに、スマート農業の活用には効果的な基盤整備を推進します。

《数値目標等》


成果指標	現況値 (R4)	目標値 (R8)
データ農業技術による生産性向上	シャインマスカット(施設) 1.3t/10a	シャインマスカット(施設) 2.6t/10a
	きゅうり(施設) 16t/10a	きゅうり(施設) 50t/10a
データ農業導入による品質の向上	秀品率	秀品率
	もも(露地) 40%	もも(露地) 45%
	すもも(露地) 60%	すもも(露地) 65%
	スイートコーン(トンネル) 70%	スイートコーン(トンネル) 75%
スマート農業技術の導入支援数(累計)	155戸 (R2~4)	200戸 (R5~8)

① データ農業による生産性の向上に向けた技術の開発・普及

○栽培環境のデータ測定や生育状況の画像解析により、土壌や生育の管理などの匠の技術を見える化するデータ農業の技術を開発し、JA等と連携して適切に技術を普及します。				
	農業技術課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○施設シャインマスカット・きゅうりの生産性向上に向けた技術の開発・普及	栽培試験 データ分析		普及	
○センシング技術を活用した匠の技術を見える化する技術の開発・普及 ＜露地のシャインマスカット・なす＞	データ解析 マニュアル化	普及		
＜露地のもも・すもも、トンネル栽培のスイートコーン＞	農家選定 データ収集	データ収集 解析		マニュアル化 普及

② 地域の特性に応じたスマート農業技術の普及促進

○スマート農業を活用した新技術の実証・普及や、大学等が行っているスマート農業機器の開発に対し、栽培技術面の支援を行います。				
○コスト低減や生産性向上のため、ICT機器等の導入や情報通信環境の整備等を支援します。				
○スマート農業の活用にも効果的な基盤整備を着実に推進します。				
	農業技術課、畜産課 農村振興課、耕地課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○スマート農業技術の実証・普及	実証・普及			
○スマート農業機器の開発に向けた支援	支援			
○スマート農業機器等の導入支援	支援			

○スマート農業の活用に効果的な基盤整備の推進				
	実施			

(3) 農畜水産物等の高付加価値化の推進

地球温暖化の抑制に貢献する4パーミル・イニシアチブや家畜を快適な環境で飼育するアニマルウェルフェアの取り組みを拡大するとともに、この取り組みにより生産された商品を「エシカル・プレミアム」として差別化し、農畜産物の高付加価値化を推進します。



また、捕獲したニホンジカの有効活用を図るため、やまなしジビエ認証制度の拡大、ジビエや副産物（皮など）の利活用を推進し、「やまなしジビエ」のPRや販路拡大などに取り組みます。

《数値目標等》

成果指標	現況値 (R4)	目標値 (R8)
4パーミル・イニシアチブ取り組み面積	4,926ha	7,300ha
アニマルウェルフェアに取り組む農家数	エフォート認証 9戸 アチーブメント認証 7戸	エフォート認証 50戸 アチーブメント認証 25戸
ニホンジカの処理頭数（累計）	2,887頭 (R1~4)	5,484頭 (R5~8)

① 4パーミル・イニシアチブの取り組みの拡大

- 近年、地球温暖化等の影響による農作物への影響が懸念される中、地球温暖化の抑制に貢献する4パーミル・イニシアチブの認証制度の取組面積の拡大を図るとともに、この取り組みにより生産された農産物を「エシカル・プレミアム」として差別化し、情報を発信します。
- 全国のトップランナーとして、4パーミル・イニシアチブの取り組みを県外へ幅広く普及していきます。

	農業技術課 販売・輸出支援課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○4パーミル・イニシアチブの取組面積の拡大				
	実施			
○エシカル消費者層に向けた情報発信				
	実施			

○4パーミル・イニシアチブの県外への普及				
	全国協議会の開催			
	全国サミットの開催			

② アニマルウェルフェアの取り組みの拡大

○家畜を快適な環境で飼育する取り組みを認証する本県独自のアニマルウェルフェア認証制度の認証取得農場数を拡大します。				
○様々な媒体を通じ、アニマルウェルフェアの取り組みを広く情報発信します。				
○小学校の社会科見学など、アニマルウェルフェア認証農場での体験等の機会を提供することにより、消費者等の理解を促進します。				
	畜産課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○アニマルウェルフェアの認証取得農場の拡大				
	実施			
○アニマルウェルフェアの情報発信				
	実施			
○認証農場での体験等を通じた消費者への理解の促進				
	促進			

③ やまなしジビエ認証制度の推進

○捕獲したニホンジカの有効活用を図るため、やまなしジビエ認証施設の拡大とジビエや副産物（皮など）の利活用を推進するとともに、処理頭数を増加させコスト低減につなげるために処理・加工施設整備への支援を行います。				
○「やまなしジビエ」のPRや販路拡大などに取り組みます。				
○ICTを活用した捕獲から流通までの情報共有システムを普及します。				
	畜産課 販売・輸出支援課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○やまなしジビエ認証施設の拡大				
	拡大			
○ジビエや副産物（皮など）の利活用の推進				
	推進			

○ジビエ処理・加工施設整備への支援	支援				
○「やまなしジビエ」のPRや販路拡大	推進				
○ICTを活用した捕獲から流通までの情報共有システムの普及	普及				

(4) 安全・安心で持続可能な農業の推進

農業における環境負荷低減に向け、有機農業や環境保全型農業の取り組みを支援するとともに、生産コスト削減にも資する化学肥料低減技術の普及や、家畜ふん尿堆肥及び下水汚泥などの資源の有効活用を推進します。

また、輸入原料により生産した配合飼料の使用量を減らすため、耕畜連携による飼料用米等の活用や水産分野における低魚粉飼料の活用を推進するとともに、生産性向上に向けたICT機器の導入を支援します。

さらに、地球温暖化等による気候変動に対応した農作物の安定生産技術の開発・普及とともに、果樹品種等の開発・選定に取り組みます。

加えて、畜産農家における飼養衛生管理基準の遵守を徹底するとともに、豚熱や高病原性鳥インフルエンザなど重大な家畜伝染病発生時に迅速かつ的確に対応できる防疫体制を構築します。

併せて、病害虫による被害を低減するため、発生予察情報に基づく効率的な病害虫防除指導や消費者に安全で安心して消費してもらえる農産物を提供するため、農薬の適正使用の徹底を図ります。

また、GAP（農業生産工程管理）やHACCP（危害分析重要管理点）の認証取得の推進や農作業事故の未然防止を強化します。

さらに、高品質・安定生産に向けた栽培技術などを農家へ普及するとともに、新たな品種による産地づくり等を効率的かつ効果的に推進するため、地域普及センターとJA営農指導員等との連携を強化します。

《数値目標等》

成果指標	現況値 (R4)	目標値 (R8)
有機農業の取り組み面積	247ha	300ha
化学肥料由来の窒素使用量	5.2kg/10a	5.0kg/10a
飼料用米の活用量	110t	140t
低魚粉飼料の導入業者数	3業者	7業者
家畜伝染病監視のためのモニタリング検査数 (年間)	113件	113件
特定家畜伝染病の防疫演習 (年間)	2回	2回
飼養衛生管理基準の遵守のための立ち入り検査・指導 (年間)	2回	2回



① 環境負荷低減に向けた取り組みの推進

- 有機農業の生産技術の実証ほを設置し技術の普及を図るとともに、有機農産物の需要拡大に向けたセミナーを開催します。
- 環境保全型農業技術実証ほの設置や肥料・農薬のモニタリング等を実施するとともに環境保全型農業直接支払制度により、環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者団体を支援します。
- 高品質な堆肥生産に向けた技術指導やペレット化堆肥生産の実証・普及、耕畜連携体制を構築し、家畜排泄物の有効活用を推進します。
- 農業生産現場から排出される農業用廃プラスチックの適正処理を推進します。
- 省エネルギー技術を普及するとともに、P2Gシステムで製造された水素や再生可能エネルギー等の農業利用に向け検討します。

具体的な施策・事業	農業技術課 果樹・6次産業振興課 畜産課			
	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
○有機農業の生産技術の実証・普及				
実証・普及				
○有機農産物の需要拡大に向けたセミナーの開催				
実施				
○環境保全型農業技術実証ほの設置				
実施				

○肥料・農薬モニタリング調査の実施				
	実施			
○環境保全型農業直接支払制度による支援				
	支援			
○畜産農家に対する高品質堆肥生産技術への支援				
	支援			
○ペレット化堆肥生産の実証・普及				
	実証		普及	
○耕畜連携体制の構築				
	構築			
○農業用廃プラスチックの適正処理の推進				
	推進			
○省エネルギー技術の普及				
	普及			
○P2Gシステムで製造された水素や再生可能エネルギー等の農業利用の検討				
	検討			

② 肥料・飼料等の高騰対策の推進

(肥料)

- 化学肥料の価格高騰に対し、化学肥料使用量の低減技術を普及することにより生産コスト削減を図ります。
- 肥料の原料として下水汚泥を活用するとともに、安定供給体制の構築について検討を進めます。
- ペレット化堆肥の実証・普及や散布機械等の導入を支援し、化学肥料使用量の低減に向けた堆肥の活用を推進します。

(畜産飼料)

- 自給飼料の生産拡大と耕畜連携により県内で生産された飼料用米等の活用を推進し、輸入飼料に依存しない経営の確立を支援します。
- 耕種農家と畜産農家の飼料作物の需給についてマッチングを行うことにより、耕畜連携を推進します。
- 飼料生産の効率化に向けたIoT技術の導入を支援します。
- ICT機器の導入を支援することにより、畜産におけるコスト低減や生産性の向上を図ります。

(水産飼料)

- 飼料の低コスト化に向け、水産分野において効果的な給餌方法の検討や魚粉を削減した飼料の普及を図ります。

具体的な施策・事業	農業技術課 食糧花き水産課 畜産課			
	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○化学肥料使用量の低減技術の普及	普及			
○下水汚泥の肥料利用の検討・活用促進	特性調査 実証			
		活用促進		
○ペレット化堆肥生産の実証・普及	実証		普及	
○自給飼料の生産拡大と飼料用米の活用推進	実施			
○耕畜連携に向けた生産農家と畜産農家のマッチング支援	支援			
○IoT技術を活用した飼料生産の効率化への支援	支援			







○コスト削減と生産性向上のためのICT機器の導入支援	[Progress bar]			
	支援			
○水産分野における給餌方法の検討など、飼料の低コスト化技術の普及	[Progress bar]			
	普及			

③ 異常気象に対応した農業の推進

<p>○地球温暖化等による気候変動に対応した農作物の安定生産技術の開発・普及とともに果樹品種等の開発・選定に取り組みます。</p> <p>○気象災害に対する事前・事後指導の徹底を図ります。</p> <p>○病害の発生防止と降雹被害の軽減に有効なぶどうの雨除け施設等の整備を支援します。</p> <p>○異常気象による家畜や飼料作物の生産性低下に対応する飼養管理技術等の開発・普及に取り組みます。</p> <p>○県農業共済組合や関係団体と連携して、農業保険制度（収入保険・農業共済）をPRし、加入を促進することにより、気象災害などのリスクに備えて農業経営の安定化を図ります。</p>				
	<p>農業技術課 農政総務課 果樹・6次産業振興課 畜産課 農村振興課</p>			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○果樹等の安定生産技術の開発・普及	[Progress bar]			
	開発・普及			
○気候変動に対応した果樹品種等の開発・選定	[Progress bar]			
	開発・選定			
○気象災害に対する事前・事後指導の徹底	[Progress bar]			
	実施			
○気候変動等に対応した施設導入等への支援	[Progress bar]			
	支援			
○異常気象に対応した飼養管理技術等の開発・普及	[Progress bar]			
	開発・普及			
○農業保険への加入促進のためのPR	[Progress bar]			
	実施			




④ 家畜等の疾病対策と防疫体制の強化

- 畜産農家における飼養衛生管理基準の遵守を徹底するとともに、豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の重大な家畜伝染病発生時に迅速かつ的確に対応できる防疫体制を構築します。
- 家畜伝染病の発生予防や早期発見によるまん延防止のため、高病原性鳥インフルエンザのモニタリング検査や豚熱のワクチン接種を実施します。
- 不明疾病の解明や早期診断、牛海綿状脳症（BSE）の監視のための死亡牛検査を行うとともに、疾病予防のためのワクチン接種に対して支援します。





具体的な施策・事業	畜産課			
	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○飼養衛生管理基準の遵守の徹底・指導				
	実施			
○特定家畜伝染病の防疫演習による初動体制の構築				
	構築			
○高病原性鳥インフルエンザ等発生予防のためのモニタリング検査の実施				
	実施			
○豚熱のワクチン接種の実施				
	実施			
○家畜の病性鑑定と死亡牛BSE検査の実施				
	実施			
○畜産農家のワクチン接種に対する支援				
	支援			

⑤ 安全・安心な農畜産物の生産拡大に向けた支援

【農薬等の適正使用の徹底】

○病虫害発生予察情報等に基づく効率的・効果的な病虫害防除を指導します。					
○J A等と連携し、農薬の適正使用の徹底を図るとともに、農薬の飛散防止対策等の普及・指導を行い、消費者に安全で安心して消費してもらえる農産物を提供します。					
○飼料や動物用医薬品の適正な使用を指導し、安全・安心な畜産物の生産を推進します。					
		農業技術課 畜産課			
具体的な施策・事業		工程表（年度別事業計画）			
		R5	R6	R7	R8
○病虫害発生予察情報等に基づく効率的・効果的な病虫害防除指導					
		実施			
○農薬の適正使用と飛散防止対策等の普及・指導					
		実施			
○飼料や動物用医薬品の適正使用の指導					
		実施			

【やまなしGAP等の認証取得の推進】

○やまなしGAPや国際水準GAP等の認証取得を支援し、安心・安全な農産物の供給や農作業の安全確保等を図ります。					
○畜産農場における畜産GAPやHACCPの認証取得を推進するとともに、アニマルウェルフェアの取り組みを支援します。					
		農業技術課 畜産課			
具体的な施策・事業		工程表（年度別事業計画）			
		R5	R6	R7	R8
○やまなしGAPの導入支援					
		導入支援 ・認証			
○国際水準GAPの認証取得支援					
		支援			
○畜産GAPやHACCP認証取得の推進					
		推進			
○アニマルウェルフェアの取り組みへの支援					
		支援			

【農作業事故防止対策の推進】

- 農家等に対する農作業時の事故防止の啓発活動に加え、死亡事故の発生が多い高齢者を中心に、事故防止対策研修会を開催するなど対策を強化します。
- 労働環境の改善などを含むGAPの認証取得を推進します。

具体的な施策・事業	農業技術課			
	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○啓発活動の実施と農作業安全研修会の開催	▶			
実施				
○やまなしGAP等の導入支援	▶			
支援				

⑥ 普及指導体制の更なる強化

- 地域普及センターや試験研究機関とJA営農指導員との連携を強化し、高品質・安定生産に向けた栽培技術や病虫害防除情報などを農家へ普及するとともに、新たな品種による産地づくり等を効率的かつ効果的に推進します。
- 生産現場の課題やニーズを的確に把握し、課題の解決に向けた試験研究機関等における取り組みを推進します。

具体的な施策・事業	農業技術課			
	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○各種情報の共有、JAと連携した研修会等の開催	▶			
実施				
○JAと連携した生産技術や防除情報等の提供	▶			
実施				
○生産現場の課題やニーズに応じた試験研究の実施	▶			
実施				

(5) 品質管理の徹底と効率的な流通体制の構築

果樹産地における品質管理の徹底と効率的な流通体制を構築するため、集出荷施設の再編整備、低温貯蔵施設などの施設整備等を支援します。

また、野菜産地の競争力強化のための生産施設・共同利用施設の整備を支援するとともに、県ブランド魚「富士の介」の生産・出荷体制の強化を支援します。

さらに、果実の出荷規格の統一と品質管理を徹底した出荷・輸送体制の構築などを支援するとともに、食肉についても新たな海外需要を取り込むため、輸出拡大に向けた流通体制を構築します。

加えて、県、市町村、ふるさと納税サイト運営企業などとともに県産果実のふるさと納税返礼品のクオリティの確保に取り組みます。

《数値目標等》

成 果 指 標	現 況 値 (R4)	➔	目 標 値 (R8)
果樹の共同選果施設 再編整備地区 (累計)	1 地区 (R1~4)		2 地区 (R5~8)

① 農畜水産物の出荷体制の整備

(果樹) ○集出荷施設の再編整備や低温貯蔵施設などの共同利用施設等の整備を支援することにより、果樹産地における品質管理の向上と効率的な流通体制の構築を図ります。 (野菜) ○規模拡大に向けた生産施設や共同出荷施設等の整備を支援することにより、野菜産地を維持・発展を図ります。 (水産) ○「富士の介」の生産・出荷体制の強化に向け、必要な機械・施設の整備を支援します。				
	果樹・6次産業振興課 食糧花き水産課			
具体的な施策・事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
○果樹の共同利用施設等の整備への支援	➔			
支援				
○野菜の生産施設・共同利用施設等の整備への支援	➔			
支援				
○「富士の介」の生産・出荷に必要な機械・施設整備への支援	➔			
支援				

② 果実の品質管理を徹底した出荷・輸送体制の構築

○ J A と連携して出荷規格の統一を図るとともに、品質管理の徹底に向けた出荷・輸送体制の構築を支援します。

	販売・輸出支援課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○ J A と連携した統一出荷規格の検討・実施	➡ 検討	➡ 検討・実施		
○ 品質管理の徹底に向けた輸送体制の構築支援	➡ 支援			

③ 食肉の輸出拡大に向けた流通体制の整備

○ 国内市場が縮小する中、新たな海外需要を取り込むため、食肉の輸出拡大に向けた流通体制づくりを進めます。

	畜産課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○ 食肉の輸出拡大に向けた流通体制づくり	➡ 調査・検討	➡ 体制整備		

④ ふるさと納税返礼品のクオリティの確保

○ 県、市町村、ふるさと納税サイト運営事業などで構成する協議会を設置し、納税者に高品質な県産果実を確実に届ける方策を検討・実施します。

	販売・輸出支援課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○ 関係者で構成する協議会の設置及びふるさと納税返礼品のクオリティを確保するための方策の検討・実施	➡ 設置・検討	➡ 実施		

(6) 販路拡大と6次産業化の推進

農畜水産物の販路を拡大するため、生産者と実需者等のマッチングを支援するとともに、「富士の介」や「やまなしジビエ」等の本県オリジナルブランドの販路開拓を図ります。

また、農業の6次産業化を推進するため「やまなし農山村発イノベーションサポートセンター」を設置し、プランナー派遣による加工品開発等の支援やインターンシップ研修を実施するとともに、地域食品産業連携プロジェクト（LFP）推進事業を活用し、規格外農産物の有効活用や高付加価値化を図るため、産地と異業種の多様な事業者が連携したプラットフォームが取り組む加工品開発や販路開拓を支援します。

さらに、県産農畜水産物等の消費拡大を図るため、関係団体と協働し、各種イベントなどでの利用促進に向けたPR活動や、直売所出荷者等への栽培技術指導に取り組みます。

加えて、加工施設等の整備に必要な総合化事業計画の策定等を支援するとともに、農産物直売所等へのICT技術等を活用した設備や機器の導入を支援します。

併せて、学校給食における地産地消を促進するため、県産農畜水産物の情報を提供するとともに、生産者等とのマッチングを支援します。

《数値目標等》

成果指標	現況値	目標値
サポートセンターの支援により商品の販売に至った事業者数（累計）	14事業者 (R1~4)	16事業者 (R5~8)
LFP推進事業により利活用した規格外農産物の商品開発数（累計）	0品目	3品目 (R5~8)

① 農畜水産物等の販路拡大

○生産者団体や関係機関などと連携し、展示会や個別対応により生産者と実需者等のマッチングを支援します。				
○「富士の介」や「やまなしジビエ」など本県オリジナルブランドの販路拡大を支援します。				
	販売・輸出支援課 食糧花き水産課 畜産課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○生産者と実需者等のマッチング支援	➤			
	支援			
○本県オリジナルブランド農畜水産物等の販路拡大への支援	➤			
	支援			

② 農業の6次産業化の推進

- 「やまなし農山村発イノベーションサポートセンター」を設置し、プランナー派遣による農産物の素材を生かした冷凍やドライフルーツ、付加価値の高い商品の開発や販路拡大等を支援します。
- また、加工品製造業者や販売店でのインターンシップ研修により、新たな6次産業化に取り組む事業者の技術習得を支援します。
- 開発した加工品の生産拡大に必要な施設や機材の整備等を支援します。

		果樹・6次産業振興課			
具体的な施策・事業		工程表（年度別事業計画）			
		R5	R6	R7	R8
○イノベーションサポートセンターの設置、プランナーによる支援		▶			
	支援				
○インターンシップ研修の実施		▶			
	実施				
○加工品の生産拡大に向けた施設整備等への支援		▶			
	支援				

③ 規格外農産物を活用した新商品の開発支援

- 規格外農産物の有効活用に向けた実態調査を実施するとともに、地域食品産業連携プロジェクト（LFP）推進事業を活用して、産地と異業種の多様な事業者が連携して取り組む加工品開発や販路開拓を支援します。

		果樹・6次産業振興課			
具体的な施策・事業		工程表（年度別事業計画）			
		R5	R6	R7	R8
○規格外農産物の実態調査		▶			
	実施				
○規格外農産物の利活用に向けたプラットフォームの設置と新商品開発等への支援		▶	▶		
	設置		支援		

④ 地域の販売集客拠点での販売対策等への支援

- 各種イベントなどで直売所マップを配布する等の利用促進に向けたPR活動に県内外で取り組むとともに、農産物直売所等への集客促進に向けた情報発信を行い、地域の農畜水産物等の消費拡大を図ります。
- 農産物直売所への出荷者に対する栽培技術指導や新品目導入への支援を行い、農産物直売所における品揃えの確保を促進します。

	販売・輸出支援課 農業技術課 果樹・6次産業振興課 畜産課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○各種イベント等での県産農畜水産物の利用促進に向けたPR活動の実施	→			
実施				
○農産物直売所の集客促進に向けた情報発信	→			
実施				
○農産物直売所出荷者等に対する栽培技術指導・新品目導入への支援	→			
支援				

⑤ 農産物直売所等の施設整備への支援

- 農産物直売所や農産物加工施設等へのICT技術等を活用した設備や機器の導入を支援します。
- 規模の大きな加工施設等の整備事業に必要となる、6次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の策定等を支援します。

	果樹・6次産業振興課 農村振興課			
具体的な施策・事業	工程表（年度別事業計画）			
	R5	R6	R7	R8
○農産物直売所等へのICT技術等を活用した設備・機器の導入支援	→			
支援				
○6次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画策定への支援	→			
支援				

⑥ 学校給食における地産地消の促進

- 教育委員会と協働し、学校へ県産農畜水産物の出荷量・出荷時期等の情報提供やモデル校への食材提供に向けた助言や利用促進を行うとともに、学校と生産者等とのマッチングを支援します。
- 学校給食用牛乳供給推進会議を開催して関係者間の情報共有を図るとともに、学校給食展示会において県産畜産物のPR活動を行います。

		販売・輸出支援課 畜産課			
具体的な施策・事業		工程表（年度別事業計画）			
		R5	R6	R7	R8
○県産農畜水産物の情報提供		▶			
	実施				
○モデル校への助言・利用促進		▶			
	実施				
○学校と生産者等のマッチング支援		▶			
	支援				
○牛乳等の利用促進に向けた関係者間の情報共有と県産畜産物のPR活動		▶			
	実施				

(7) 輸出の更なる拡大

ぶどう、もも等の輸出先国拡大のため、検疫条件が未設定の中国、ベトナム等への輸出解禁に向け、引き続き国等へ要望活動を実施します。

また、米・牛肉・魚など県産農畜水産物の輸出品目の拡大に向けて、アジア地域等を中心に市場調査を行うとともに、果実の輸出で構築した「やまなし」のブランド力を生かし、新たな販路を開拓します。

さらに、JA等が取り組む高品質な県産果実を徹底した品質管理により海外へ供給する体制づくりへの支援や県産食肉等の輸出促進に向けた体制づくりを行います。

《数値目標等》

成 果 指 標	現 況 値 (R4)	➔	目 標 値 (R8)
県産果実の輸出額	20.7 億円		35 億円

① 新たな輸出先国の開拓

○ぶどう、もも等の輸出先国の拡大のため、検疫条件が未設定の中国やベトナム等への輸出解禁に向け引き続き国等へ要望活動を実施します。				
○米・牛肉・魚など県産農畜水産物の輸出品目の拡大に向けて、アジア地域等を中心に市場調査を行うとともに、中長期的な戦略を策定し、果実の輸出で構築した「やまなし」のブランド力を生かし、輸出先国を開拓します。				
	販売・輸出支援課 畜産課			
具体的な施策・事業	工程表 (年度別事業計画)			
	R5	R6	R7	R8
○中国等との検疫条件の早期設定に向けた国等への要望活動の実施	➔			
	実施			
○輸出品目拡大に向けた市場調査と中長期的な戦略の策定	➔			
	調査・策定	実施		

